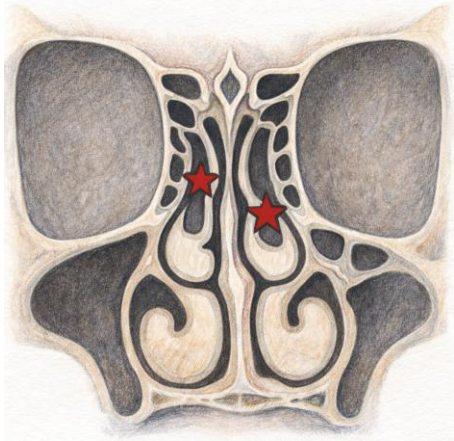


患者さまへ

「鼻副鼻腔内形態に関する後方視的観察研究」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2016 年 4 月から 2025 年 3 月までに、当院または東邦大学医療センター 大森病院で鼻副鼻腔 CT 検査を受けられ、鼻内手術（内視鏡下副鼻腔手術、鼻中隔手術、下鼻甲介手術など）を受けられた 16 歳以上の方。
2 研究目的・方法	研究の目的 この研究では、中鼻甲介（ちゅうびこうかい）という鼻の中の骨の形の違いと、その周りの構造との位置関係を、撮影済みの CT 画像から調べます。中鼻甲介の周りには、手術の際に注意が必要な部分が多くあります。そこで、どのようなタイプの形があるのかを整理し、手術をより安全に行うための情報をまとめることを目的としています。  副鼻腔冠状断（★：中鼻甲介蜂巢） 研究の意義 鼻や副鼻腔まわりの骨の形は人によって少しずつ違います。その違いを正しく理解することは、安全に手術を行うためにとても重要です。特に中鼻甲介の位置は、前方と後方の副鼻腔を分ける境目にあり、周囲には目の周りの骨や神経、血管など、大切に傷つけてはいけない部分があります。 中鼻甲介の形がどのようになっているのかを十分に把握できていないと、手術中に気づかないうちに危険な方向へ器具が進んでしまうおそれがあります。 今回の研究では、中鼻甲介の形を分かりやすく分類することで、手術時の注意点を明確にし、より安全に治療を行えるようにすることを目指しています。 研究の期間：施設院長許可後（2026 年 1 月予定）～2028 年 3 月 31 日

3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	この研究では、診療録に記録された以下のような臨床情報を利用します。 ・患者背景（年齢、性別、体重、喫煙歴など） ・病歴情報（既往歴、主診断として慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎など） ・CT 画像
5 研究実施体制	[情報の提供を受ける機関] （研究代表機関） 湘南鎌倉総合病院 耳鼻咽喉科 中村 允人 [情報を提供する機関] （既存情報提供機関） 東邦大学医療センター大森病院 耳鼻咽喉科 松井 秀仁 [外部への情報の提供] 提供を行なう機関の長： 東邦大学医療センター大森病院 病院長 池田 隆徳 共同研究施設間の情報共有は、個人を特定できない状態（研究用 ID 化）で安全に行います。 情報は暗号化された電子データでやり取りし、個人を特定できるコード番号一覧表は各施設の個人情報管理者が保管します。 海外への提供は行いません。
6 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
7 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 氏名：中村 允人

	病院名・所属、職位: 湘南鎌倉総合病院 耳鼻咽喉科 医長 住所: 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 連絡先: 0467-46-1717
--	---

2026 年 2 月 2 日作成(第 1.1 版)